



## 国際ヨーガ・デイズin新潟

チェルノブイリ被爆のこどもたちに胃カメラを贈ろう

# チャリティーヨーガ開催

6月21日は国連により「国際ヨーガ・デイ」に制定されました。  
今年、「キエフ小児病院 子供向け 胃カメラ」を寄付するため  
チャリティーヨーガを開催いたします。

日時：7月2日（日）

～お問合せ・お申込み～  
新潟県ヨーガ療法士会

参加費：¥1,000以上

（いくらでも志をお願いいたします。  
一部経費を除き全額寄付させていただきます）

会場：アリア

（新潟市中央区近江1-2-17）

お願い： 駐車場は数に限りがあります。  
なるべく交通機関でお越しください。

①ホームページより申込み  
<https://niigatayogatherapy.jimdo.com/>

②メールから  
[niigatayogatherapy@gmail.com](mailto:niigatayogatherapy@gmail.com)  
件名：7/2チャリティーヨーガ  
内容：名前、連絡先

③お電話 鈴木静子まで  
090-7528-4971

スケジュール内容 どこからでも参加できます（受付9：30～）

①10:00～11:30

ヨーガセラピー  
&  
太陽礼拝



②11:30～13:00

ランチタイム  
（アールヴェーダ  
チャイ&デザート有）  
昼食は各自ご持参ください

ギータカードで  
楽しもう

③13:00～15:00

オーム瞑想  
ココロとからだの調和をとる  
瞑想

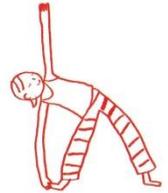
④ヨーガストラ入門  
ヨーガの智慧を学ぼう

主催：日本ヨーガ療法学会・新潟県支部  
<https://niigatayogatherapy.jimdo.com/>





## 「子供の胃カメラ支援が必要な理由」 キエフ、ヨーガ療法指導者、古市先生より



キエフ市立第9小児病院は、消化器系専門病院です。首都キエフ全域から子供たちが来ます。毎回、この病院で、入院している子供たちにヨーガ療法の指導をさせて貰います。

小学1年生から中学3年生までの子供たちが参加しますが、現地の医師によると胃潰瘍だそうです。

何故、胃潰瘍になるのかというと、理由は判らないと言われています。病院の医師は、ストレスが一つの原因と話していました。ウクライナ東部で繰り広げられているロシアとの戦争で、父親が兵士として参戦しているためにストレスになっているとか、戦争により親が先行きに不安を感じて、それを子供たちが敏感に感じ取っているからとか、そんな言い方をしていました。

しかし、ロシアとの戦争前から胃潰瘍で入院している子供たちは沢山いました。被曝の影響により、消化器系が弱いという人もいましたが、よく判らないというのが現状です。その子供たちが胃カメラの検査を受けます。

旧ソビエト時代は、医療費は無料でした。

しかし、1991年にソビエト連邦が崩壊し、その後、1990年代の経済危機に見舞われて、ウクライナ国の経済は大変厳しい状況になっています。

一般市民の月収は、15,000円位と言われています。国立病院の医師ですら給料だけでは生活できないため、夜はタクシーの運転手のバイトをしてしのいでいると聞きました。また、給料の遅配のため、何か月も給料がないと国立病院の医師が話していました。そのような状況のため、病院の薬棚には、殆ど薬品がなく、日本から渡航された長崎大学医学部教授の亀井勉医師や東邦大学付属病院の木村宏輝医師が、日本の学校の保健室よりも薬がないことに、ありえないと驚かされていました。

また、医療機器も旧式のものばかりで、その中で胃カメラも、ファイバースコープの先端にある器具が壊れたため、医師が何とか自作して、騙し騙し使っているような状況でした。

また、チューブが子供用としては太いため、小さな子供には大変な苦痛を伴います。稀に食道を傷つけることもあり、何とか日本製の細いチューブのものを支援して欲しいと6年程前から毎回、言われていました。

しかし、簡単に支援ができる金額ではなく、いつも話だけを聞いている状況でした。担当のザムラ女医さんが、ある時、言いました。「いつも、いつも、胃カメラを支援して欲しいとばかり言って申し訳ないです。こんなことを聞くのは嫌でしょ。私も毎回、毎回、皆さんにお願いすることが辛いんです。でも、国からの援助は期待できないし、予算もないし、子供たちのことを考えると、こうするしかないんです」と言われていました。

ザムラ先生の気持ちを思うと、いたたまれなくなりました。

今回、国際ヨガDayは、胃カメラを送るためのチャリティイベントになりました。全国の皆様、どうか宜しく願い申し上げます。

古市佳也